

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成27年度第2回水戸市行政評価委員会
- 2 開催日時 平成27年8月19日（水）午後1時30分から午後3時40分まで
- 3 開催場所 本庁舎前プレハブ会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
大谷由美子, 高井美智明, 宮内久江, 吉田勉, 吉成俊勝（氏名五十音順）
 - (2) 執行機関
磯崎和廣, 小川喜実, 川上悟, 堀野辺直, 山田政則, 深谷晃一, 吉川彩美, 宮本陽子,
長谷川仁, 綿引正治, 塚原広孔, 菊池精一, 吉川茂重, 深澤和広, 根本健次
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - ・ 平成27年度事務事業の評価（継続評価）について
4年目評価（4事務事業）, 3年目評価（1事務事業）（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
 - (1) 資料⑦ 審議のスケジュール（8月19日開催）
 - (2) 資料⑧ 審議のスケジュール（8月20日開催）
 - (3) 資料⑨ 審議のスケジュール（8月21日開催）
 - (4) 資料⑩ 審議のスケジュール（8月31日開催）
 - (5) 資料⑪ 審議のスケジュール（9月2日開催）

9 発言の内容

- **執行機関** 本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
定刻となりましたので、平成27年度第2回水戸市行政評価委員会を開会させていただきます。初めに、総務部長から御挨拶をさせていただきます。
- **総務部長** 委員の皆さまには大変お忙しい中御出席いただきましてありがとうございます。本日から3日間、更には、8月31日、9月2日の合計5日間具体的な審議をいただくことになります。日程的にも事務数も大変多い中ですが、委員の皆様の客観的な観点から忌憚のない御意見を頂きますよう、よろしくをお願いします。
- **執行機関** それでは、資料の確認をさせていただきます。資料⑦が本日第二回、資料⑧が第三回、資料⑨が第四回、資料⑩が第五回、資料⑪が第六回のそれぞれ審議のスケジュールとなっております。委員の皆様が実施されましたヒアリングの質問回答についてお配りしておりますので、後ほど御確認をお願いします。本日は4年目評価の4事務事業と3年目評価の1事務事業を御審議いただきます。それぞれ事務事業の担当課が出席しておりますので、審議についてお願いいたします。それでは、議事進行につきましては、___委員長をお願いします。
- **___委員長** それでは早速ですが、会議次第に基づき、議事を進めたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。最初に会議録の公表の関係で、会議録署名人を私から指名させていただきます。___委員と___委員にお願いいたします。
- **___委員長** それでは、早速、議事に入ります。本日の会議は、昨年度に実施した行政評価の総合評価が、「改善継続」とされた4年目評価を4事務事業と、3年目評価を1事務事業について審議してまいります。それぞれについてここで審議をしていただいて、改善継続か終了かということをお我々で決定していくということになります。お忙しい中ですので、審議は、限られた時間の中で進めていこうと思いますので、一つの事務事業についての審議時間は25分程度を限度として、資料⑦「審議のスケジュール」の順番で進めていきたいと考えております。進め方といたしましては、初めに、昨年度の総合評価に基づき設定した改善目標と、改善目標に対する実施状況についてまとめた一次評価について、各所管課から説明がありますので、それを踏まえて、各委員から御意見、御質問を頂き、評価案をまとめていきたいと思っております。なお、本日は、各事務事業の担当課に出席いただいておりますので、疑問点等がある場合には、随時御質問いただければと考えております。また、審議が終了した後事務事業の担当課は退席していただくという予定で御了承願います。進め方については、このような方法でよろしいでしょうか。それでは、資料⑦「審議のスケジュール」に基づきまして進めてまいりたいと思っております。なお、第1回委員会で配布されました、赤のインデックスの資料②の一次評価の概要と資料③の行政評価調書をお手元に準備してください。それでは、順番の1番目、保育所管理運営事務について、幼児教育課から説明をお願いします。
- **幼児教育課** 保育所管理運営事務につきましては、昨年度の総合評価におきまして、保育所の管理運営については、適正配置方針の決定、民間活力の活用による管理運営手法の検討、施設耐震化の完了、待機児童解消プランを活用した民間保育所の整備、グループ型小規模保育事業など市独自制作の推進を2年目改善目標としている。このうち、

施設の耐震化は今年度の完了を予定している。また、待機児童解消プランを活用した保育所整備により定員増を図ったほか、今年度はグループ型小規模保育対応の施設を整備予定であり、この点については評価終了とする。しかし、適正配置方針の決定及び民間活力活用による管理運営手法の検討については、適正配置方針の決定後に行うこととして未実施であるため検討が必要である。このようなことから、次年度も評価を継続していくということで、改善継続となっております。そのため3年目の改善目標としまして、平成27年度策定予定の「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）の策定に併せて、幼稚園・保健所の今後の在り方、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法の検討を行う。また、潜在的なニーズの把握に努め、待機児童解消に向けた一層の取組を推進するということで目標を設定しております。当方の一次評価ですが、「水戸市幼児教育振興基本計画（第二次）」を策定し、幼稚園・保育所の認定こども園への移行、適正配置方針及び民間活力活用による管理運営手法を検討しております。また、3月に策定しております「水戸市子ども・子育て支援事業計画水戸・すくすくプランに基づき、待機児童解消に向けた保育環境の整備を推進するということにしています。

- **___委員長** 4年目評価ということでございます。今、目標とそれに対する対応ということで御説明いただきました。委員の皆様には忌憚のない御意見、御質問を頂きたいと思っております。先ほどのとおり、20分から25分の間で改善継続か決めていただくこととなります。では私から、「水戸市幼児教育振興基本計画（第二次）」が今年度作成予定ということですがどれくらいになるのでしょうか。どれくらいというのは時期のことですが。
- **幼児教育課** 今年度一杯をかけて、平成28年度の2月3月で調整を図っていく形です。
- **___委員** 4年目評価の1次評価の分で確認なのですが、幼児教育振興基本計画の中で、認定こども園等適正配置方針と民間活力活用による管理手法というのを位置付けるわけですか。
- **幼児教育課** はい、内容としてはそういったものを位置付けて、今後どのように幼児教育を進めていくかということで考えています。
- **___委員** 例えばですね、昨年お聞きした中で、適正配置方針の決定の後民間活力の活用をすると聞いたのでこんな文章になっているのですが、基本的には同じ年度に適正配置方針と民間活力活用の考え方を固めるということで良いですか。
- **幼児教育課** 検討していくという形です。
- **___委員** これは1年目の改善目標からずっと検討を行うということになっていたのですが、2、3年ずるずるとやっている感じがあるのですが、理由があるのですか。他で耐震とか、優先させてやっていることがあったのですか。
- **幼児教育課** まずは4月から新制度ということで、その中で民間活力活用の前に待機児童解消を進めるということが最重要と位置付けて、まずは民間保育所を整備していこうということに取り組んでいたところでございます。その後市の職員の配置とかも含めまして、やっと新制度に入りましたので、この時期に今後の計画を進めるという時期にきたと思っております。
- **___委員** 昨年の3次評価で、夏から秋頃に聞いた話で、施設の耐震化は今年度で終わったということですか。

- **幼児教育課** 保育園に関しては平成 26 年度に終わりました。
- **___委員** 3次評価での、第2段落目の施設の耐震化は今年度を予定しているというのは、平成 26 年度ですよ。これは平成 27 年度なのですか。昨年の本部で決定しているので、平成 26 年度に耐震化は終わっているということですか。
- **幼児教育課** 保育所につきましては終了しました。
- **___委員** また、今年度はグループ型小規模対応用の施設を整備予定であり、とありますが、これも平成 26 年度に整備したということでしょうか。
- **幼児教育課** こちらは家庭的保育所事業者を中心にした事業ですけれども、なかなか利用者が集まらなかったということもありまして、今年度も小規模整備ということで継続して今年2か所設置する予定になっておりまして、平成 26 年度にはまだ完了していないという状態です。
- **___委員** ということは、今年度というのは平成 27 年度ということですか。平成 26 年度にやる予定で終了だと言っているのですけれども、実際にはやれなかったということでしょうか。この部分は評価が終了したが、まだ事業が残っているところがあるということですか。それに加えて今度基本計画の中で、施設の配置方針とか民間活力活用という手法を検討するというのが、今年度の重要な仕事になっているということですか。
- **幼児教育課** はい。
- **___委員長** 他は何かございますか。
- **___委員** 基本計画を作るものは、今どこまで進んでいますか。例えば外部委員会を作って検討しているとか、内部で会議しているとか。
- **幼児教育課** 内部で今月中に教育委員会の中で関係課と打合せをするという話で、課の内部で検討しているところです。
- **___委員** 検討しているというのは、適正配置をどうすれば良いかということを実体的に検討しているということですか。それとも基本計画の内容をどうするかということを検討しているということですか。
- **幼児教育課** 内容もそうですし、実際にどういう方向性で持っていくかということも検討しています。
- **___委員** すると、教育委員会の内部で作る計画になるということですか。
- **幼児教育課** まず内部で検討しまして、その後に庁議を諮って市の方針として決定します。
- **___委員** 市の内部で住民を入れた検討会をするというのはやらずに、行政内部で計画を作るということですか。
- **幼児教育課** それから意見を公募するということですね。
- **___委員** パブリックコメントはするわけですね。適正配置方針って難しそうですが、中でまとまりそうですか。
- **幼児教育課** 各施設のヒアリングとか実際の幼稚園の充足率ですね。年々下がっているということなので、魅力あるものにしようということで課の内部で検討はしています。
- **___委員** 最終的には、待機児童を解消するための環境整備をするということに資するための計画だということで良いのですよね。

- **幼児教育課** こちらはそれと整合性を図るということで、待機児童解消につきましては、水戸市の第5次総合計画と先ほどの水戸の子ども子育て支援事業計画で、ニーズの把握とそれに見合った施設を整備するというもので別に計画しておりますが、整合性を図るような内容にしていきます。
- **___委員** 一言で言うと、幼児教育振興基本計画の目的は何ですか。
- **幼児教育課** 本市の就学前の全ての子どもが、幼児期にふさわしい環境の中で、人間性を成長できるように。
- **___委員** まあ、教育の向上ということでしょうけれども、待機児童の問題とはリンクしないのですか。
- **幼児教育課** 直接的にはリンクはしないと思います。
- **___委員** 解消に向けてることに関係はするけれども、主目的ではないということですか。
- **幼児教育課** そちらも教育内容の向上になります。
- **___委員** 教育内容の向上をしたり、民間活力を向上したりという、どこまでできるかということの内容を検討しているということですか。
- **___委員長** 内部でも検討し始めているということですか。
- **幼児教育課** はい。
- **___委員** 三年目評価の潜在的なニーズを求めており、というのがありますが、把握できた内容とかはありますか。
- **幼児教育課** ニーズの把握に関しては、平成26年2月に保護者にアンケート調査を行っておりまして、そのアンケート調査で保育所を希望するとか、幼稚園を希望するであるとか、ある程度とっておりまして、実際今年入りたいという割合を算出しておりまして、それに合わせて各5年間の利用増加率を検討しまして、ニーズ等を把握しまして、それに見合った計画を定めて子育て支援計画で必要となる施設を制定していくということで、出していっています。
- **___委員長** それを引き継ぎまして、アンケートの回収率とか実効性が気になっているのです。潜在的ニーズというのは、こういうものが重要になるかと思うのですけれども。
- **幼児教育課** ニーズ調査の結果ですが、調査期間は平成26年の4月です。2,000件配布しまして、回収率は37.7パーセントでした。
- **___委員長** 当然そういった結果も、こういった振興基本計画に生かされていくわけですね。他に御質問ありますでしょうか。我々の評価に入ってもよろしいでしょうか。今まで説明を受け、質問応答していった中ですが。
- **___委員** まだ検討中ということなので。
- **___委員長** では改善継続ということで、当委員会ではそういった結果であるということでもよろしいでしょうか。では審議は終了ということで、お疲れ様でした。引き続き御尽力をお願いします。次は、同じ幼児教育課で幼稚園の管理運営事務です。
- **幼児教育課** 幼稚園管理運営事務でございますが、3次評価は保育所と似た内容ですが特に幼稚園につきましては、適正配置方針及び民間活力活用、管理運営手法の検討、

適正配置などで検討が必要ということです。今後、保育所の待機児童解消を図りながら、幼稚園が現在定員割れをしている中で、保育所と幼稚園の一体的な運営の手法を検討が必要ということで改善継続ということになっております。改善目標といたしまして、水戸市幼児教育振興基本計画策定に併せて、幼稚園に関しても事務を進めていくということです。施設の耐震化につきましては今年度中を目指しています。改修を予定している見川幼稚園につきましては、耐震化に関しては済んでおります。それに併せまして、4年目の評価でございますが、平成26年度に子ども子育て支援新制度への移行を行い、子ども課において水戸すくすくプランを策定しております。この2つの整合を図りながら、今年度は「水戸市幼児教育振興基本計画（第2次）」を策定し、その中で保育サービスの向上とともに、適正配置方針、民間活力の活用、保育所も含めた一体的な在り方等、総合的に検討していく。幼稚園の耐震化については、平成26年度中に飯富幼稚園及び妻里幼稚園の園児を耐震化された建物に移すことで安全の確保を行い、平成27年度に浜田幼稚園及び酒門幼稚園園舎改修を完了させ、妻里幼稚園の耐震補強工事を実施することで、小中学校及び幼稚園の一体的な改築事業を予定している見川幼稚園を除き、施設の耐震化を完了させる予定であります。

- **___委員長** いかがでしょうか。
- **___委員** 結局、総合的な計画なのですが、いつまでに何をどうするか、スケジューリングをしないと進まないのかなと思います。どんな進め方をするのか、内部で全て進めるのか、外部意見を取り入れるのか、どういう手順で進めるのかをまず決めるべきなのかなと思います。そうでないと来年も同じ評価をしている気がします。
- **幼児教育課** 幼児教育基本計画でございますが、充実した教育保育内容の展開、幼児教育の基盤の整備、子育て支援の充実、施設の環境の充実ということで、まずは今年度今策定の基本計画の骨子案について、関係課の中で進めていってございまして、まずは方針を進めていくという形でございます。
- **___委員** スケジューリングができていますということですか。
- **幼児教育課** 主なスケジュールは、現時点では、骨子あるいは大まかな概要は作る予定にはなっておりまして、まだ一部要項を一元化ということで、認定こども園移行についても検討するというので、大きな検討全体としてはまだ教育委員会の中で収まってございまして、教育委員会会議で内容を詰めて、1月にパブリックコメント、3月一杯かけて策定ということで、スケジュールは考えております。
- **___委員** ということは、年度内には大体決まる予定ということですか。
- **幼児教育課** はい。
- **___委員長** 問題が突然わいてきたわけではなくて、既に幼保一体型とか、待機児童の問題ですとか、適正配置の問題は分かっているわけですので、基本計画ももちろん重要だと思うのですけれども、もう少し積極的にできることはどんどんやっておいて良いんじゃないかと思います。そういう姿勢も必要なのかなと思います。耐震化のほうは達成見込みができていますということですが、保育園と同じように基本計画への対応を見てもおかしいといけないというのは、先ほどと同じだと思いますが。
- **___委員** 市庁部局で保育所の業務をやっている部署はなくて、教育委員会が全部や

っているということですね。ということは、幼稚園はやりやすい、保育所の待機児童があつて、幼稚園が定員割れしているということで、分かりやすいという気もしますが、そういう意味で保育所と幼稚園の一元化、課題のプラスマイナスがあると思うのですが、その方向性というのは水戸市としてはどういう対応がありますか。

- **幼児教育課** 水戸市としては教育と保育の内容でございますが、基本計画で盛り込む中で就学前の教育と保育のカリキュラム、幼保小の連携、特別支援の充実はもう既にやっているとところなのですが、それでもまだ充実させたい内容ではあります。幼稚園での給食を広げるとか、子育て支援の幼稚園での扱い、更に充実させるということが、基本計画で位置付けております。
- **___委員** 保育所が足りない、幼稚園は足りているというのを一緒にしてしまえば良い、というそんな簡単な問題ではないのですか。
- **幼児教育課** 一部園舎が隣り合っているとかがあります。内原幼稚園は保育所と一体的になっているということで、幼保一体型の認定こども園への認可を進めている状態です。
- **___委員** 水戸市としてはそういう方向に本流が進んでいくということですか。
- **幼児教育課** できるところからそういうふうに進んでいくという感じです。職員についても、幼稚園と保育園の人事交流も現場で進めております。
- **___委員** その計画は、実務的かつ将来の水戸市の実務計画がにじみ出るところで、期待されるところでもありますね。やっぱり水戸市くらいの大きさになりますと、教育委員会が保育所をやっているものなのですか。
- **幼児教育課** いろいろ所管が分かれている市町村もあるのですが、水戸市としては教育委員会が行っております。
- **___委員** 県内では水戸市以外でも教育委員会が全部保育所をやっているところもあるのですね。
- **幼児教育課** 資料がないのですが、やっているところもありますね。
- **___委員** 水戸市が異例ではないわけですね。分かりました。
- **___委員長** よろしいですか。先ほどのお話ですと、改善継続ということになるかと思いますが、引き続き改善継続ということになります。よろしく願いいたします。お疲れ様でした。

次は、公設地方卸売市場管理運営事務について審議をしたいと思います。御説明お願いします。

- **公設卸売市場** 市場の管理運営事務につきましては、指定管理者制度の導入に向けた効果検証を行い、市場内事業者の協議検討を行うこととし、他市場の事例調査や市場内事業者で構成します市場協力会と勉強会を行いました。引き続き勉強会を重ねながら制度導入の方向性について協議を進めていくといたしました。
- **___委員長** 本事務につきましても4年目評価でございます。今日標とそれに対する対応についてお話いただきました。御質問等お願いします。
- **___委員** こちらに指定管理者制度の効果検証について調査をされたということですが、メリットデメリットについてお願いします。

- **公設卸売市場** メリットにつきましては、人件費削減が一番大きいと思います。小さな工事等につきましては、すぐ市の手続きができるということで、発注できるという利便性があります。ただ、市の職員として人事異動が必要な可能性があるということが挙げられると思います。
- **___委員長** あえてデメリットというのは何かありますか。
- **公設卸売市場** 公平性が難しいのではないかという話がありました。指定管理者としての業務分担が思うようにならなかったり、煩雑になったりするかもしれないということ、市場の情報が入りづらいということ、当初は委託料についての懸念があります。
- **___委員長** メリットデメリットを検討したということですが、記述そのものはありますか。
- **___委員** 何かにまとまっていますか。
- **公設卸売市場** 内部で検討いたしまして、他の市場さんをまとめている段階です。これを踏まえてまた勉強会を開いて検討するということになっております。
- **___委員長** 我々にはまだ出てきていないということですね。
- **___委員** 分かりました。これからまたそれを踏まえて検討ということですね。
- **___委員** デメリットメリットっていうのは、それについて市の方で、職員の配置は人事課、予算は財政課、市場ではなくて、市として議論したいというものはありますか。業務をやっているセクションと、全体的に見ている部署と、意見交換した結果、方向性が変わったり見出したりということはありませんか。ずっと4年くらいやっているの、どのような変遷をしているのか興味があったので、お聞きしたいです。
- **公設卸売市場** 方向性がまだはっきり示されていないのですが、大きな流れとしては指定管理への方向を考えています。
- **___委員** 昨年と課長は変わられているのですね。方向性が随分変わりましたね。昨年度に指定管理はないとおっしゃられていましたが。
- **___委員長** 御質問からは、昨年度は市場の協力会との話もままならなくてという、入口から大変だという話だったのですが、少し進んでメリットデメリットを再調査されて、少しシフトしているのかなということでしたが。
- **公設卸売市場** また勉強会を開きますので、御質問されたメリットデメリットを今のところまとめて、勉強会の方に出していこうかなと思います。
- **___委員長** 次回もやろうというふうにはなっているわけですね。
- **___委員** 仮定の話なのですが、指定管理者を導入するかしないかというのは、正に市又は議会の判断なのですが、想定する指定管理者というのは市場協力会ということになりそうなのですか。第三者が入ってくるということがあるのですか。
- **公設卸売市場** 市場協力会自体が従来の事業者で組織してあるものですから、第三者が入るよりかは、いろんな面で分かっていると思います。
- **___委員** 有力な想定として勉強している、具体的に指定管理者をする場合には、指定管理者としての業務の工夫が難しいという話でしたが、それを検討することが大事ですね。昨年の御意見をお聞きしたところ、非常に黒字を出しているのでも他の所を見る限り指定管理をするのが良いとは言えないという御意見だったのですが、今はどんな御意

見ですか。

- **公設卸売市場** 一長一短あるかとは思いますが。
- **___委員** 必ずしも指定管理者が良いというわけじゃないですけども、このような仕事について、市の一般職員がずっと専門的な立場で関与し続けるというのは無理があると、外部の者としては思うのです。そのときに、人材を活用するためには少し違うのではないかという認識を持っているのですが、そこは先ほど言ったメリットデメリットの中で協議していくのだと思うのですが、そこは先ほど言ったメリットデメリットの中で協議していくのだと思うのですが、個人的意見ですけども、人が変わられて視点が変わったということで、もうちょっと頻りに検討いただいたほうが良いかなと、老婆心ながら思います。
- **___委員長** いかがでしょうか。
- **___委員** いつ頃までに決着を付けるのか、どういう結論を出すのかという、それを決めないとずるずるいってしまいそうである。
- **公設卸売市場** 今年度中に方向性を出したいとは思っております。
- **___委員** 勉強会というネーミングが良くないと思うのですが。
- **___委員** 他の例を見ると、財政課辺りが厳しく、予算要求の時にちゃんと外部から検討されているのに、スケジュールが立たないと予算が出せないと言われるレベルだと思うのです。スケジュールリングが重要というのはそういう意味だと思います。勉強会の頻度を固めるとか、プロジェクトチームを組むとかして、漫然と同じように繰り返しているようではいけないと思います。ただ、黒字を出しているから、その部分でインセンティブが働かないという原因になっているのかもしれませんが、問題は見えています。
- **___委員長** そうしましたら判定ということに移りますけれども、改善継続ということにしたいと思います。では、終わりにいたします。ありがとうございました。では一旦休憩を取りまして、14時35分から再開ということでお願いします。

〔休憩〕

- **___委員長** それでは時間になりましたので、次の審議、少年自然の家管理運営事務ということになります。御準備よろしいでしょうか。
- **生涯学習課** 少年自然の家管理運営事務といたしましては、昨年度評価において、少年自然の家の特色や魅力の再検証、施設の有効活用の検討、民間活力活用、効果的なプロモーションについて進んでいないことから、改善継続となっております。そのために改善目標としまして、山根地区の特性や立地資源の有効的活用、施設整備後の新たな少年自然の家の持つ特色や魅力を再検証するとともに、今後の利用促進に向けて魅力的なプログラムの開発や、地域と連携した事業展開などソフト面の充実や、民間活力活用について現在策定を進めております「第二次水戸市少年自然の家利用促進方策」の中で、より一層の充実を図っていきたいと考えております。
- **___委員長** 皆さんいかがでしょうか。本件も4年目評価ということになります。
- **___委員** 端的に、4年目を迎えたのですが、1年目からずっと通して、成果とはどんなものでしょうか。
- **生涯学習課** 成果としましては、ニーズとして、平成22年度より利用者も増加傾向に

あります。そういった中では、主催事業の見直しとか新たなプログラムの開発で、一定の効果が出ていると思います。

- **___委員** 新たなプログラムというのは具体的に何ですか。
- **生涯学習課** ピザづくりや、焼き杉板です。
- **___委員** 民間活力活用としてはどんなふうに進んでいますか。
- **生涯学習課** 民間活力といいますか、プログラム開発として、大学とタイアップして練っている最中でありまして。指定管理につきましては、教育委員会としては社会教育主事をどういった形でできるか、民間活力活用として考えております。
- **___委員** 6ページから7ページにかけて、6ページ一番下の3年目改善目標として、施設設備の有効活用と、民間活力の活用と、大学等とのプログラムなどの共同開発と、やるべきこととして三つをやることになっているようなのですね。利用促進方策として27年度にやろうとしているのですけども、現実には7ページの上を書いてあるように、今年から来年に向けて大規模改造事業が行われるわけですね。そうすると、大規模改造事業は何に基づいてされるのでしょうか。施設整備の有効活用や民間活力活用などは反映されないのですか。どんな関係になりますか。
- **生涯学習課** 去年に水戸市の少年自然の家再整備方針というものを策定してしまして、それに基づいて整備は進めております。
- **___委員** 去年できたのですね。それに基づいて大規模改造事業を行う。そうすると、そこでやることと、施設整備の有効活用、民間活力の活用、大学等とのプログラムの共同開発はどういう関係にありますか。
- **生涯学習課** その中にも記載はしてありますけれども、ソフト面の利用促進政策ということで、より詳しくというか、中身を具体的なものを組み込んでいこうということで。
- **___委員** 箱は平成27年、28年でできるので、その箱を有効に活用するためのソフト面を利用促進方策に基づいて作っていこうという制度ですね。分かりました。
- **___委員長** 我々が持っている資料の赤いインデックスの②の4年目評価の一番下ですが、※印を除くと5つ、利用促進方策第二次と併せて下記の様々な施設設備の有効活用、民間活力の活用、大学等と連携したプロジェクト開発、効果的なプロモーションという形になっていくと思うのですが、施設設備の有効活用については協議調整を進めということですが、その進捗状況はどうでしょうか。つまり、これが施設の魅力アップということに関連しているのだと思うのですが、話題を変えまして、魅力アップのコンセプトというのは何でしょうか。
- **生涯学習課** 特色ある地域と連携した事業を展開したいなと思っております。
- **___委員長** 建物の特色はありますか。結構大きなスペースがあって、例えば雨が降っても楽しめるような。そのような工夫はありますか。
- **生涯学習課** 雨が降っても工作ができる施設があるのですが、近隣施設の森林公園などの利用を含めて連携した事業ができればと思っております。多目的広場というか、体育館なのですが、屋内でキャンドルサービスなんかを立てられるものを持っているので、そういったものも全面に出しながら利用促進を図っていきたいなと思っております。
- **___委員長** 建て直しや耐震のことなど、どういう建物があるのかなあということだ

け質問させていただきましたが、他の委員の皆様はいかがですか。

- **___委員** 利用促進ということですが、ここ何年かで利用者は増えているのでしょうか。
- **生涯学習課** 去年は少しですが増えています。
- **___委員** 増えているのですね。どういった利用が増えているとかありますか。
- **生涯学習課** 先ほど申したように、施設面が影響あるのではないかと思います。平成 22 年度が危機的な状態でしたが、改善を図りながら 15,000 人強くらいの数に戻ってきてはいます
- **___委員長** いかがでしょうか。
- **___委員** 確認なのですが、利用実績というのは平成 21 年度が 8,000 人になって、突如として 1.5 倍くらいに増えているのですが、これは何かあったのですか。
- **生涯学習課** 平成 22 年度末に今回作る利用促進方策を策定しまして、これに基づいて事業を展開しまして、平成 23 年、24 年と少しずつ回復していったという形です。
- **___委員** 利用促進方策の目玉は何がありましたか。
- **生涯学習課** 先ほど言った活動内容などがあります
- **___委員** 設備を大きくしたとかじゃなくて、ソフト面なのですか。それを今また平成 27 年度中に新たなものを作ろうということだと、施設利用者が 15,000 人や 20,000 人になるような感じを目標にしていますか。
- **生涯学習課** 目標は 20,000 人にしています。
- **___委員** ということは、今は拡充路線に入っているということですね。それはかなり良いと思います。やっぱり、今度はハードも大きくしたわけですから、平成 24 年に増えた時よりももっとインパクトがありますね。
- **生涯学習課** ハード面ですと、冷暖房がなかったものですから、夏は暑かったので冷暖房完備になりますということで、どんどん利用者を増やしていこうと思っているところです。
- **___委員** それに関して人を増やすということはあるですか。組織を増やすとか。それと民間活力という考えがありますか。指定管理にするとかいう考えはあるのですか。かなり大規模改修ということになりますね。容量的には 1.5 倍くらいになりますか。
- **生涯学習課** 宿泊の容量的には変わらないのですが、宿泊施設も改修しまして、食堂などは 200 人以上学校が一日に来て、200 人一学年が入れますので、利用もできます。一気に入れる場所が以前はありませんでしたので。
- **___委員** この 15,000 人というのは、宿泊の利用だけじゃないのですか。
- **生涯学習課** 日帰りも入ります。
- **___委員** では、宿泊よりも日帰りの利用のほうが動きそうな感じですか。
- **生涯学習課** 例えば日帰りだけでなく、学校が一日来て、一学年全員入れますので、研修会をやったり講習会をやったりという利用もできますので、今までは一気に入れませんでしたので、そういった活用ができるかなと思っています。
- **___委員** 狙いは市内と市外は分けているのですか。料金とか。
- **生涯学習課** 料金は水戸市隣接市町村では同じですが、水戸市隣接市町村外は少しだ

け高くなっています。

- **___委員** 隣接外も多いのですか。
- **生涯学習課** 多いです。
- **___委員長** 施設を改築した時には、1年間利用を同じ料金にしたりしても良いかもしれませぬね。こういう良い施設ができたということを知ってもらうのも大事です。
- **生涯学習課** 県内に積極的にアピールはしていきたいですが、公の施設ですし、類似施設もありますので、あまり大幅に利用料を変えることはできないと思います。
- **___委員** 類似施設として白浜少年自然の家もありますが、規模としてはどちらが大きいのですか。
- **生涯学習課** 白浜少年自然の家です。
- **___委員** さしま少年自然の家とかもあります。
- **生涯学習課** さしま少年自然の家のほうが若干大きいですね。
- **___委員長** でも一番新しくなるということですね。
- **___委員** 県の施設と競争関係というわけではないですけども、そういう感じなのですかね。
- **生涯学習課** 水戸よりは他は離れていますので、市内の小中学生はこちらを利用します。うちの施設はインターから下りてすぐなので、高速が近いということも売りにできると思います。
- **___委員長** 他にはよろしいでしょうか。私あまり誘導するのも駄目なのですが、5つか6つ改善目標があって、それが設備の更新と共にどうなるかということで、改善継続ということによろしいでしょうか。
- **___委員** 常磐大とのプログラムということですが、もうできたのですか。大規模改修後に使うプログラムということですか。
- **生涯学習課** 教授の方と専門の教授を紹介してもらって研究していこうと思っています。
- **___委員** どなたでしょうか。何の専門の先生でしょうか。
- **生涯学習課** ___先生という方です。専門は調べておきます。
- **___委員長** 完了か継続かということですが、私個人としては継続かなと。
- **___委員** 具体的にどこを継続しますか。プロモーションなどは成果が出ているので、ただ民間活力活用というところがまだでしょうか。
- **___委員** 平成27年度作られたものが、どう現実にシフトするのかなというところを見届けたい。大規模改修にフィットさせるわけですよ。そのリニューアルの間は休むことになるのですよね。
- **生涯学習課** 休むのですけれども、施設が使えないだけで主催事業は市民センターを借りて継続していきます。ソフトの事業だけですが。
- **___委員** 平成29年がリニューアルということで平成28年度というのは利用人員というのはがたっと減るということですか。
- **生涯学習課** 主催事業だけの人数になりますので、がたっと減ることになると思います。

- **___委員** それは平成 27 年度も減るし、平成 28 年度も減ることになりますね。
- **___委員長** 改築に向けてというか、平成 27 年度の計画に向けてはある程度改善している部分もありますし、終了してもいいという判断もありますし、改修中でしたがと減るといふことなら何が問題だったのだろうということにもなりますし、どちらを取るかということところです。楽しいプログラムもあるようですし、その後の方向性が出ればそこで差し当たりは終了でいいのかなと思っているのですが。
- **___委員** 指定管理者制度の検討もされるということなので、そこを考えると継続でもいいのかなと。
- **___委員長** では継続の方向でしょうか。
- **___委員** 平成 27 年度に作る利用方策を見て、28 年度にどういうふうに入れ込む考え方を示していただければ、それで終わりという感じでしょうか。
- **___委員長** 継続とさせてもらいますけれども、28 年度以降に今回作った計画を見て終了かなという判断ですけれども。大分先行き明るく見えておりますので、簡易的な改善継続とさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、次の森林公園管理事務について審議をしていきたいと思っております。御説明をお願いします。

- **農政課** 森林公園管理運営事務につきましては、昨年度の総合評価において、来園者のニーズ調査、外部意見の導入、近隣施設と連携した事業展開の検討を 1 年目改善目標としている。このうち、外部意見の導入として常磐大学との連携を始めたところであり、その中で、来園者のニーズ調査、機能の充実、広報の強化、近隣施設と連携した事業展開を今後検討することから、更なる改善が必要であるとの評価を受けまして、次年度も評価を継続となりました。そのため、2 年目評価として来園者の増加を図るため、平成 26 年に引き続き大学等と連携し、来園者のニーズ調査や子広報の強化、近隣施設と連携した事業展開について検討を行うことを設定し、2 次評価の改善に取り組みました。

まず、常磐大学と連携し、アンケートによる来園者ニーズの調査を実施しました。その結果、来園者の 50 パーセントが 1 歳から 8 歳の子どもを連れた親子であり、70%が複数回数来園するリピーターであることが分かりました。また、満足度は 5 段階の 3 以上が 84%で再来園希望率は 95%と非常に高いことが分かりました。こうした来園者アンケートの結果に基づいて本年 1 月、学生による来園者数増加のための改善提案発表会を開催しました。発表された案の中で実現性が高かったものについて、本年度大学と連携することとなりました。

一つめの提案は広報の強化策によるもので、将来的に親子連れのお客様となる 10 代後半から 20 代前半の若者世代で情報収集手段として SNS を利用することが多いということに着目して SNS の一つであるインスタグラムを利用し学生が実際に森林公園のフォトマップを作成して情報の拡散について検証を行いました。

二つ目の提案は、恐竜を活用した子供向けレクリエーションの提供で、今度の 11 月 3 日に開催予定の青空市で実際に学生さんにレクリエーションを提供してもらい、参加者にアンケート調査を行うことなどを予定しています。また、来園者アンケートにおいて子供連れの来園者の重要さが再認識でき、子どもに来てもらう機会を増やすことが来園

者の増加につながると考えられ、また、大型バスでの来園が年々減少していることから、遠足などの行事で団体客の誘致に必要なサービスについて検討するために、市内の全保育所・幼稚園・小学校に、遠足等の行事における森林公園利用についてアンケート調査を行いました。この結果、団体客の誘致のためには、ハード面では屋内の昼食場所やトイレの整備が必要ということ、ソフト面では自然の中で行うレクリエーション等の要望があり、現在、森林公園内でできるウォークラリーのルートの選定を検討しています。

また、小学校からは少年自然の家との連携についての意見を頂き、少年自然の家が大規模改修を予定していることから、今後改修後の新しいプログラムを検討していく中、施設間の連携事業について協議をする予定であります。なお、アンケート結果につきましては各施設にフィードバックしながら来年度以降に遠足等の行事に森林公園の利用を検討していただけるようお願いをしております。

最後に昨年度御指摘がありました、成果指標の来園者数ですけれども、本年3月に策定した水戸市農業基本計画の中で、最終年度の来園者目標を20万人と設定しました。昨年度の来園者数は当初の期待のとおり3,000人の増となっており、1.5パーセントの増となっており、調書にはありませんが、本年度の4月から7月の中旬に前年の同じ時期と比較して約9,600人、3.6パーセントの増となっており、この状態が続けば今年目標を達成できる見込みとなっております。

- **___委員長** 各委員の皆様いかがでしょうか。本案件は3年目評価ということになっております。
- **___委員** アンケート結果を効果的に使われておられるようですが、アンケート結果によって何か具体的な施策をした例をもう一度お願いします。
- **農政課** アンケート結果から、実際にSNSを利用してどのような効果があるかという検証をしました。インスタグラムの中でフォトマップを作り、実際に一般の人にアップしてもらって反響が返ってくるか、「いいね」がどれくらい返ってくるかを検証しました。
- **___委員** それをアンケートでやろうということになったのですか。
- **農政課** そうですね。
- **___委員** やった結果はどうでしたか。
- **農政課** 今までホームページを主体にしていたのですが、ホームページというのは見に来てくれる人を待っているような、受動的な広報手段といわれていて、例えば施設の概要ですとか、行事予定などの基本的情報を発信するには向いているのですが、SNSは積極的にこちらから情報を発信していくことができ、今どのような楽しみ方ができるかですとか、動物や植物がどのように育っているとか、時系列を追ったタイムリーな情報発信手段に適していて、山羊だったら山羊というように特定のコンテンツに興味を持った人が食いついてくるというか、積極的に興味を持って森林公園に来ていただけるようになります。
- **___委員** 「いいね」とかで、効果があったということですね。
- **農政課** そうですね。もう一つは恐竜に関するイベントなどを学生さんに考えていただいて、それを11月3日にある森林公園の大きなイベント、青空市で実際にやっていた

だいて、参加者の方にアンケートをいただくということになっています。

- **___委員** ということは、去年で課題になっていたことが、かなり今年の前半で取り組まれているということですね。非常に良いと思います。恐竜はリニューアルしないのですか。
- **農政課** 6次総合計画の中で再整備の位置付けがありまして、来年度再整備の計画を立てるということになっておりますので、アンケートなどのニーズの調査によって、その中に盛り込みながら、全体的に調整していきたいなと思っております。
- **___委員** 興味があって聞いているのですが、恐竜はどのくらいで替えるのですか。
- **農政課** 数年に一度毎年数体ずつに、再塗装をするくらいですね。
- **___委員** 十数年同じ恐竜なのですね。もっと変えた方が良いという意見はSNSとかで出てこないですか。
- **農政課** アンケートでは鳴き声を出したらという意見があって、声を出すというのは何かの対応をしたいなと検討しています。
- **___委員** 今のところ鳴きもしないし動かないのですね。
- **___委員長** ただ登ってみるだけです。草食系の恐竜と肉食系の恐竜が数体あって、トリケラトプスみたいなのがありますが。
- **___委員** 県内であんな恐竜があるところというのは他にないと思いますので、珍しいなと思います。鳴かせたり動かせたりできたらいいと思います。
- **___委員長** 鳴かせるくらいだったら音響施設を作ったら良いと思いますが。FRPなので、穴を開けたりすると強度に問題があるかもしれませんが。3Dのバーコードを貼って読み込めば自分のスマホから声が出るなど、学生さんならできるのではないですか。解説が出て声が出るとか。それで、常磐大学との協定というのは水戸市と常磐大学と永続的な連携、プロジェクトが長期間にできるようにという仕組みができていのでしょうか。
- **農政課** 包括的な協定の中で、森林公園に関しては昨年からということですよ。
- **___委員長** 学生の発想が良いということで、それを実践して効果が出てきたということだったのですけれども、そこで気になっているのは学生さんと交流が比較的長期にわたるように、仕組みが作られているのかどうかということなのですが。
- **農政課** 国際学部の経営学科のマーケティングの授業の中で行っています。
- **___委員長** 単位になるのですね。
- **___委員** 先生は誰ですか。
- **農政課** ___先生と___先生です。今年終わったときに先生方とお話しして、常磐大学の方でもマッチングして学生さんとテーマを決めて継続的に取り組めればと思っています。
- **___委員長** 文科省はしきりに地域貢献と言っていますので、大学の方も地域貢献になるようにできると良いですね。他に御質問等ありますでしょうか。
- **___委員** 2ページの来園者数で、平成21年は20万人を超えていたのですが、それ以降は20万人を超えていないというのは、何か理由がありますか。
- **農政課** 震災の後なかなか戻らないということもあるのですが、実は年度からいうと、

震災の前から落ち込んでいまして、遡って見てみますと、過去20年くらい全体的に右肩下がりで下がってきているのですね。目標も右肩下がりの角度を上げていって、8年くらいで20万人に戻すという計画を考えておりますので、がくんと下がっているというよりは、凸凹しながら大きな流れで下がってきていると見ていただくのが良いかなと思います。

- **___委員長** いかがでしょうか。いろいろ調査をされ、それに合わせてアクションを起こし、私はPDCAのサイクルがうまく回ってきているのかなというふうには感じています。一定の方向が示されて、その方向も間違っていないだろうという感じを受けます。終了しても良いのではないのかなと。では、改善があり、方向性ありということで、今回で評価終了ということによろしいでしょうか。
- **___委員** 大学との連携をできるだけ継続していただければと思います。5年くらいすれば身に付くかなと思います。
- **___委員長** 向こう側にもインセンティブがあると良いかもしれないですね。
- **___委員** 学生が皆来ているのですかね。
- **農政課** 去年が1年生と2年生、今年が2年生と3年生ですね。経営学科の学生で、ゼミ生がそうですね。マーケティング実習生として、単位も出るのかなと。
- **___委員長** そうですね、彼らに認定証なんてものを発行できると良いかもしれないですね。就職活動にも使えるようなものがあると、持って行けるので。ちょっとしたインセンティブがあると学生が参加するのも違いますので。
- **___委員長** では、付帯意見も参考にいただければと思います。ありがとうございました。それでは、本日の審議は終了ということになります。ありがとうございました。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
- **執行機関** それでは、今後のスケジュールについて御説明いたします。資料の⑧から⑩に記載されておりますのでこれに基づきまして、明日8月20日木曜日午後1時30分から、同じく本庁舎前プレハブ会議室で開催いたします。また、8月21日(金)、8月31日(月)と9月2日(水)の日程と合わせまして、資料⑧から資料⑩のスケジュール案のとおり振り分けしております。今後のスケジュールにつきましては、以上です。
- **___委員長** ただ今、事務局から説明のありましたスケジュールについて、何か御質問等ございますか。確認ですけれども、8月31日が___委員が欠席ということによろしいでしょうか。
- **___委員** 明日も欠席させていただきます。
- **___委員長** 明日と8月31日欠席ですね。分かりました。他に委員の方から御質問、御意見ございませんか。よろしいですか。それでは、以上をもちまして、第2回の委員会を終了いたします。お疲れ様でした。